

2023. 7. 7

北九州市教職員組合にゅうす



## 冬来たりなば、春遠からじ！ no.3 ～「全九州水平社創立の地に学ぶ」フィールドワーク補足説明～

報告者：中島弘陽

一 寛政義民松原五人衆（1800年・寛政12年）  
藩から、芝居小屋で暴れた侍を殺害したのは部落の若者であり、その若者を差し出さなければムラを焼くと言われ、5人の若者がムラのために死罪となった出来事。1929年（昭和4年）に、松原水平社が「五人合葬之墓」を建立している。

三 博多毎日新聞差別記事事件（1916年・大正5年）  
「人間の屍体を元素に還す火葬場の隠亡」という差別偏見の記事を書いた博多毎日新聞に抗議した豊富や金平の306人が検挙され、首謀者3名が懲役1年の実刑となるなど計47名が有罪となった事件。

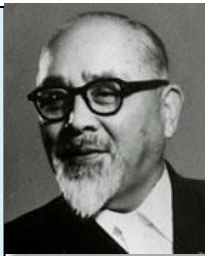
### 千代の三大受難

二 筑前竹槍一揆（解放令反対一揆）による部落の焼き討ち（1873年・明治6年）  
明治政府は「学制（明治5年）」「徴兵令（明治6年）」「地租改正（明治6年）」に先立ち、明治4年に「解放令」を出したが、それらの改革に反対する一揆が全国各地で勃発した。筑前の国に起きた一揆では、竹槍をもって参加したことから「筑前竹槍一揆」と呼ばれている。福岡県庁をめざした一揆勢は、途中の部落を焼打ちにしたが、豊富村も焼打ちにあった部落である。

### フィールドワークで説明させてもらった人々の紹介

#### ①松本治一郎

金平村で生まれる。「解放の父」と呼ばれた社会運動家、政治家。戦前、戦中は九州水平社委員長。全国水平社中央委員長を務める。戦後は、部落解放全国委員長、部落解放同盟初代委員長を歴任するとともに、初代参議院副議長となる。電力の鬼と言われた松永安左エ門や結社玄洋社社員、あるいは、共産主義者や社会主義者など右から左まで親交があったとされる。



#### ②松本次吉

治一郎の父。熱心な浄土真宗門徒で寛政義民松原寛政五人衆の過去帳が残っている豊富村の松源寺の門徒代表をつとめた。後に金平にも浄土真宗の寺を建立したいと松源寺より分立した大光寺を建立する。

松源寺には五人衆の過去帳がある。



#### ③松本治七

治一郎の兄。部落解放運動を進める松本治一郎に対し、松本組をあずかる治七は、治一郎を通して、解放運動に経済的支援を行ってきた人物である。



大光寺

#### ④井元麟之（いもと・りんし）

豊富村出身。福岡連隊に入隊後、21歳の時に連隊内に兵卒同盟をつくり、軍隊内の部落差別と闘う。28歳で全国水平社書記局長となり、松本治一郎を支える。福岡部落史研究会（現、公益社団法人福岡県人権研究所）の創業者でもある。

#### ⑤松本源太郎

金平村出身。当時公爵であった徳川家達（とくがわ・いえさと）に、部落差別があるのは徳川家の責任であるとし、爵位を返上するように求めた運動を進めてきたが、家達を殺害しようとしたのではないかという官憲によるでっち上げで逮捕され獄中で亡くなった犠牲者。

大光寺には「松本源太郎の墓」と「藤岡正右衛門の墓」がある。ちなみに正右衛門の妻は、寺の住職の娘であった。

#### ⑥藤岡正右衛門

金平村出身、福岡第24連隊事件において、官憲によってでっち上げられた爆発物取締罰則違反によって、肺の病を抱えつつ昭和4年4月に下獄。獄中にて病死する。源太郎とともに、大光寺に荊冠が刻まれた墓がある。

源太郎と正右衛門の墓の奥には、松本治一郎が座右の銘としていた「不可侵不可被侵」の碑なども立っている。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



/// JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

